

# (財)阪大微生物病研究会 大阪大学微生物病研究所 共催セミナー

演題: ヒトがん、がん幹細胞、免疫の接点  
- Primordial tumor antigen の探求

演者: 佐藤 昇志 先生

札幌医科大学医学研究科 腫瘍免疫学 教授

日時: 2014年1月22日(水) 16:00~

場所: 微生物病研究所 本館1階 微研ホール

ヒトがん免疫研究は着実な進展をとげ、臨床の治験等、治療への取り組みも勢いをまし、がん免疫治療が日常臨床で具現化する一歩手前までできているといえる。

サイエンス誌は2013年の「科学10大ニュース」の第1位に「がん免疫の進歩」を挙げた。

しかし、一方でよりファインな研究が益々必要になっている。本セミナーでは、がん免疫治療臨床試験の現況と、そこから今後どういう課題解決が新たに必要か、概説したい。私どもは、可及的免疫治療の有効性をあげるため、長年ヒト免疫とヒトがん幹様細胞(cancerstem-like cell, CSC)/がん起始細胞(cancer-initiating cell, CIC)の関係を教室の大きな研究テーマとしてきた。そこから得た「primordial human tumor antigen」の重要性を話したい。

がんの免疫が21世紀あるいは22世紀のがんの治療・予防の最大のホープとしてゆくゆくはその主座になりえると考える。

\*このセミナーは医学系研究科修士課程の単位認定セミナーです。

主催: (財)阪大微生物病研究会

共催: 大阪大学微生物病研究所

お問い合わせ先: (財)阪大微生物病研究会秘書課 佐長 内線9099  
微研細胞機能分野 内線8287